

20歳の学生が編集長を務める「千葉大学環境報告書」 充実の88ページ、2016年版が発行

～全国で最も学生が制作に関わっている環境報告書です～

国立大学法人千葉大学では、2004年度から毎年、環境ISO学生委員会が構成・取材・執筆・デザイン進行管理を担当して「環境報告書」を制作しています。本日、「千葉大学環境報告書2016」を発行いたしました。

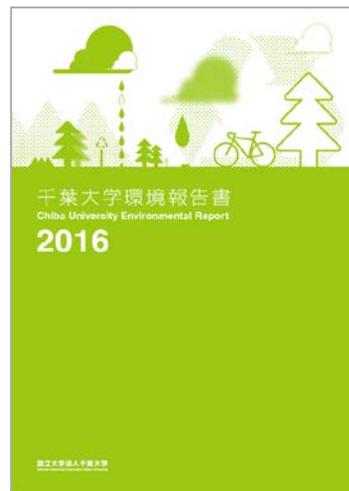
■千葉大学の環境報告書とは

「環境報告書」とは、事業者（企業、団体、学校等）が、自らの事業活動によって生じる環境負荷や、環境に対する考え方、取り組み等を社会に対して定期的に公表するものです。国立大学では法人化を契機に2005年度から作成が義務付けられています。千葉大学ではISO14001を学生主体で取得・継続しており、その活動を学生の実務教育の機会ととらえているため、環境報告書も学生が編集長・副編集長を務め、学生委員が手分けして原稿の構成・取材・執筆・校正を行い、デザイン学科の学生がデザインを行い、約半年かけて制作しています。

環境報告書はホームページで公開 <http://www.chiba-u.ac.jp/general/approach/environment>

■2016年版の6つのトピックス

サステイナブルキャンパスの推進	2015年11月に千葉大学で開催したサステイナブルキャンパス推進協議会の第3回年次大会についての紹介
千葉大学の環境活動への評価	環境活動に関して2015年度に受賞した6つの賞について紹介
環境教育・研究の取り組み	植物工場において葉の老化を抑制することで、葉の廃棄ロスを減らすことができる栽培システムの開発
創エネルギーの取り組み	千葉大学が取り組んでいる太陽光発電、太陽熱利用、工給湯器、日射の自動制御装置の導入についての紹介
学生が企業と取り組む環境活動	環境ISO学生委員会が三菱製紙販売株式会社と協同で取り組んだ環境活動についての紹介
国際化への対応	千葉大学の環境への取り組みを、海外からの留学生に説明したり、アジア環境会議で発表するなどの活動



↑2016年版表紙

表紙・中身ともにデザインは工学部デザイン学科4年の学生7名が担当

■編集長のコメント



環境ISO学生委員会 環境報告書2016編集長
石川愛海（法政経学部3年・20歳）

40名以上の学生委員、デザイナーの方々及び学内外の皆様にご協力をいただき、この千葉大学環境報告書2016を完成させることができました。編集長の業務を通し、千葉大学の環境マネジメントシステムについて深い理解を得ただけでなく、組織のマネジメントや人と関わる楽しさ・難しさを学びました。この報告書を通じてより多くの人々に千葉大学の環境への取り組みについて知ってもらえれば幸いです。

■千葉大学環境ISO学生委員会とは・・・2003年10月、千葉大学においてISO14001認証取得への動きが始まるとともに発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内の研修講師、目的目標実施計画の原案作成、内部監査、外部審査対応、環境報告書作成、省エネ省資源・緑化・堆肥化等の活動、地域との連携、学内への啓発活動などを担当。

本件に関するお問い合わせ
千葉大学環境ISO事務局 担当：岡山
TEL:043-290-3572 メール：kankyo-iso@office.chiba-u.jp